

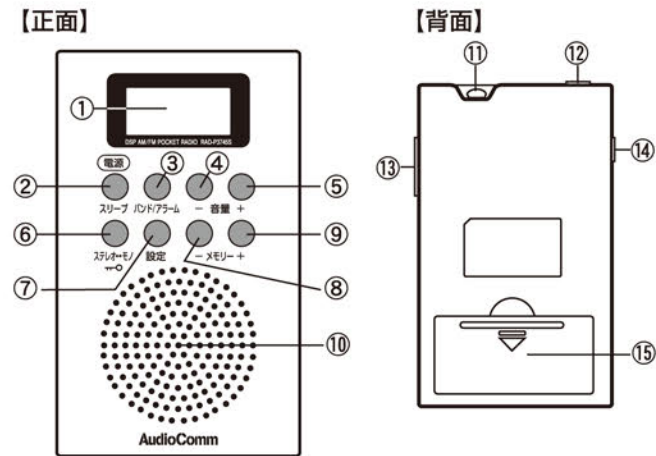
安全にお使いいただくために

電気製品は正しく取り扱いすることによって、安全にお使いいただけます。間違った使い方は火災や感電による事故につながる場合があります。ご使用前に取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。

 警告 「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
●乾電池は、充電しない。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となります。
●ACアダプターを使用する際は、指定以外の電源、電圧、プラグの極性で使用しない。 発火・火災・発熱・感電などの原因となります。
●屋外使用中に雷が鳴り出したら、すぐに使用を中止する。落雷の原因となります。
●ACアダプター使用中に雷が鳴り出したら、ACアダプターのプラグに触れない。 落雷による感電などの原因となります。
●ACアダプターのコードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたりしない。 感電、ショート、火災の原因となります。
●車、バイクの運転中はイヤホンでの使用や、細かい操作をしない。歩行中に聞く場合、周囲の交通に十分注意する。交通事故などの原因となります。

 注意 「損害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。
●湿気やほこりの多い所、油煙や湯気のあたる所には置かない。故障の原因となります。

ラジオ各部の名称



- ① 液晶画面

② 電源/スリープボタン

③ バンド/アラームボタン

④ 音量 (-) ボタン

⑤ 音量 (+) ボタン

⑥ FMステレオ⇄モノラル/ロックボタン

⑦ 設定/スキャンボタン
- ⑧ メモリー (-) ボタン

⑨ メモリー (+) ボタン

⑩ スピーカー

⑪ FMロッドアンテナ

⑫ イヤホン端子

⑬ 選局 (▲/▼) ボタン

⑭ 外部電源端子

⑮ 電池ボックスカバー

ラジオの使い方

❶「電源/スリープボタン」を押すと電源が入ります。
液晶画面が時刻表示→「On」表示→周波数表示になります。



●窓を閉め切った自動車の中や、直射日光が当たる所、暖房器具のそばなど、異常に高温になる所に置かない。故障及び火災の原因となります。
●イヤホン使用時、耳を刺激する大音量で聞かない。聴力障害などの原因となります。
●電池は、プラス(+)とマイナス(-)の表示通りに入れる。電池の破裂、液もれにより火災、けが、周囲汚損の原因となります。
●指定以外の電池は使用しない。新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。種類の異なる電池(例:アルカリとマンガン)と一緒に使用しない。電池の破裂、液もれにより火災、けが、周囲汚損の原因となります。
●長期間で使用にならないときは、電池を取り出す。電池の液もれにより火災、けが、周囲汚損の原因となります。

《ラジオ本体のお手入れの仕方》

柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤を少し含ませてお拭きください。シンナー・ベンジン・アルコールは本体をいためる可能性がありますので使用しないでください。

故障かな?と思ったら

下表を参考に点検してください。

現 象	点検方法
音が出ない	・音量が最小になっていないか確認。 ・乾電池の残量を確認(残量がない場合は電池を交換)。 ・イヤホン端子にイヤホンプラグを接続していないことを確認。
雑音が入る	・携帯電話、テレビ、蛍光灯の近くで使用していないことを確認。

- ❷「音量(-)ボタン」または、「音量(+)ボタン」を押して音量を調節します。

❸「バンド/アラームボタン」を押すごとに、AM⇄FMステレオに切り替わりますので、お聴きになるバンドを選択します。

❹「選局(▲/▼)ボタン」の(▲)または(▼)を押して、お聴きになる放送局に合わせます。なお同ボタンの(▲)または(▼)を約2秒長押しすると、自動選局となり、電波の強い放送局を自動検知して止まります。
※AMは9kHz、FMは0.1MHzステップで周波数が増減します。

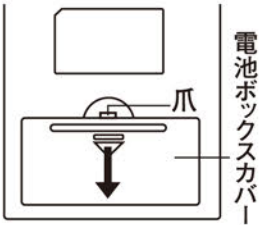
❺電源を切るときは、「電源/スリープボタン」を押します。
液晶画面が「OFF」表示→時刻表示になります。
※本機はFM周波数帯域が76~108MHzまでであるため、ワイドFM(FM補完放送)に対応しています。
ワイドFM(FM補完放送)とは、AM放送局の放送区域において難聴対策や災害対策のためにFMの90.1~94.9MHz周波数帯域を用いて補完的にAM番組を放送することです。
ワイドFM(FM補完放送)の開始時期、放送局、使用周波数、聴取可能エリアなどは地域により異なります。
詳細は各地域のラジオ局ホームページなどをご覧ください。

■付属のステレオイヤホンのご使用について
「イヤホン端子」に付属のステレオイヤホンのプラグを接続してご使用ください(接続時は音量を下げて、耳に負担のない音量に徐々にあげてください)。
※イヤホン使用時はスピーカーから音は鳴りません。

電源について

乾電池装着の仕方

- 本体背面の電池ボックスカバーの上に突起している爪部分を矢印方向に押しながら外します(右図参照)。
- 電池ボックスに、単4形乾電池2本(別売)を入れます。
電池ボックス内に表示されているプラス(+)、マイナス(-)の極性通りに正しく入れてください。
※乾電池はマイナス(-)側から先に装着してください。
- 電池ボックスカバーを❶と逆の手順で閉めると、装着完了です。

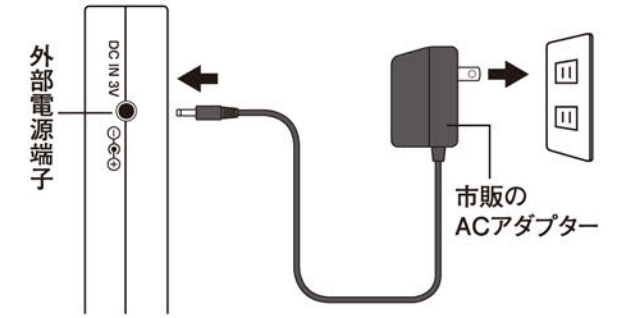


電池ボックスカバー

※電池交換は手早く行ってください。電池を外した状態が約20秒以上続くこと、設定していた時計、アラーム、放送局メモリーがリセットされます。その場合は再度設定し直してください。
※本機はアルカリ乾電池の使用をお薦めします。マンガン乾電池、充電式乾電池では使用可能時間が短くなります。

外部電源への接続の仕方

- 市販のACアダプター(DC3V ⊖⊕対応)を準備します。
- 本体左側面の外部電源端子に、準備したACアダプターのプラグ側をしっかりと差し込みます。
プラグの極性は、センタープラス(⊖⊕)です。
- ACアダプター本体を家庭用コンセントへ根元まで確実に差し込みます(右上図参照)。
- 自動的に電源が乾電池からAC電源に切り替わります。



※市販のACアダプターでは、プラグの極性変換ができる商品もありますので、極性を間違えないようにご注意ください。
※ACアダプターをご使用の際は、ACアダプターの取扱説明書もよくお読みになり、正しくご使用ください。
※ACアダプターは必ず電源オフの状態でご接続してください。
電源オンの状態で接続すると、設定していた時計、アラーム、放送局メモリーがリセットされます。その場合は再度設定し直してください。

※家庭用コンセントでのご使用時にACアダプターを抜くと、設定されていた内容(時計、アラーム、放送局メモリー)がすべてリセットされます。その場合は再度設定し直してください。

電源についてのご案内

初めてご使用になる場合、乾電池を装着もしくは外部電源に接続してから可動状態になるまで約5~6秒ほど要することがあります。可動状態になると液晶画面の表示が現れます。その後各操作を行ってください。(可動状態になるまで液晶画面には何も表示されませんが故障ではありません。)

プリセットメモリーの使い方

■手動で選局して保存する場合

- 「ラジオの使い方・項目❶~❹」までの手順で選局します。
- 「設定/スキャンボタン」を押すと液晶画面にプリセット登録番号が約3秒点滅します。
点滅中に「メモリー(+)ボタン」と「メモリー(-)ボタン」を使用して、設定する任意のプリセット登録番号(0~19まで)を点滅させます。
- 再度「設定/スキャンボタン」を押すと、設定したプリセット登録番号で保存完了です。
- 同じ手順でAM/FM各20局までメモリー保存可能です。



■自動で選局・保存する場合(ATS)

- 「ラジオの使い方・項目❶~❸」までの手順でAMかFMを選択します。
- 「設定/スキャンボタン」を約5秒長押しすると、ATSが作動して受信感度のいい放送局を自動で選局・保存します(AM/FM各20局まで)。
※ATS(オートチューニングストレージ)を使用してプリセット登録すると、以前のプリセットメモリーは上書き消去されますのでご注意ください。



■プリセット登録した局の聴き方

- 「ラジオの使い方・項目❶~❸」までの手順でAMかFMを選択します。
- メモリー(+)ボタンとメモリー(-)ボタンを使用して、液晶画面に表示されるプリセット登録番号より、お聴きになる番号(局)を選んでお聴きください。



主な仕様

受信周波数	AM 522-1620 kHz FM 76-108 MHz
メモリー	FM/AM各20局(合計40局)
電 源	DC3V 単4形乾電池×2本(別売) 外部電源：DC3V ⊖⊕ (市販ACアダプター使用)
電池持続時間	スピーカー使用時 AM受信 約30時間、FM受信 約26時間 イヤホン使用時 AM受信 約34時間、FM受信 約30時間 (アルカリ乾電池使用、音量中程度として)
外形寸法	幅60×高さ100×奥行21mm(突起物含まず)
質 量	約73g(乾電池含まず)
付 属 品	ステレオイヤホン、取扱説明書、保証書

※外観、仕様は予告なく変更する事があります。

アフターサービスについて

- 調子が悪いときは、修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり、正しく使われているかお調べください。
それでも調子が悪いときは、お買い上げ店、またはオーム電機修理ご相談センターにご相談ください。
- 保証期間中は、保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
- 保証期間が過ぎていても、修理によって機能が維持できる場合は、お客様の ご要望により有償で修理させていただきますので、お買い上げ店にご相談ください。

©OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
http://www.ohm-electric.co.jp

製品に関するお問い合わせは
お客様相談室
●通話料無料
0120-963-006
●携帯・IP・公衆電話からは
048-992-2735

電話受付
平日 9:00~17:30
土曜 9:00~17:00
※日曜・祝日及び年末年始は除きます

修理に関するご相談は
修理ご相談センター
電話 048-992-3970
受付 平日 9:00~17:00
※土・日・祝日及び年末年始は除きます

07-8661A

時刻とアラームについて

■時刻の設定

- 電源・オフ時に「設定/スキャンボタン」を押します。液晶画面に「12(または24)Hr」表示が点滅。「選局(▲/▼)ボタン」上下で、12⇄24時間表示を選択、「設定/スキャンボタン」を押して決定します(12時間表示の場合、液晶画面表示は、午前は表示無し、午後は「PM」と表示されます)。
- 次に「時」が点滅、「選局(▲/▼)ボタン」の上下で「時」を選択し、「設定/スキャンボタン」を押して決定します。
- 次に「分」が点滅、「時」と同じ手順で「分」を決定します。

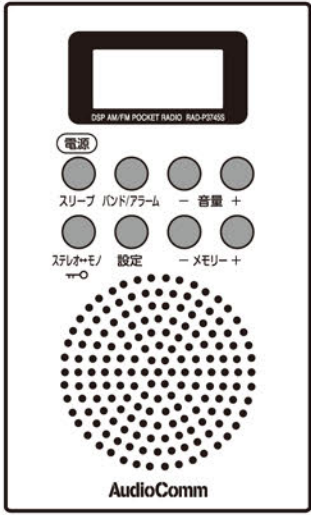


■アラームの使い方

- 電源・オフ時に「バンド/アラームボタン」を押します。液晶画面に「⌚」を表示。
- 「設定/スキャンボタン」を押すと液晶画面の「⌚」と「時」表示が点滅します。「時刻の設定・項目❷~❸」の手順でアラーム時刻を設定します。
- 次に「rAd(ラジオ)」または「buZ(ブザー)」表示が点灯。「選局(▲/▼)ボタン」の上下で2種類のアラームから選択し、「設定/スキャンボタン」を押して決定します。
ラジオを選択する場合は「ラジオの使い方」の手順で任意の放送局をあらかじめ選択しておいてください(ラジオアラームは音量VOL.38に自動設定されます)。
- 設定時刻にアラームが鳴ります。
アラームを切るときは「電源/スリープボタン」を押します(アラーム設定は保存されます)。



DSP FMステレオ/AM
ポケットラジオ
RAD-P3745S
シリーズ



取扱説明書

AudioComm

DSP FMステレオ/AMポケットラジオをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しく安全にご使用いただくため、ご使用前に「取扱説明書」をよくお読みください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に必ず保管してください。

- アラーム設定を解除するには、電源・オフ時に「バンド/アラームボタン」を押します。液晶画面の「⌚」が消灯して設定解除です。



※電源オンの状態でもアラームは作動します。
①アラーム音としてブザーを選択している場合→ブザー音に切り替わります。
②アラーム音としてラジオを選択している場合→アラーム設定の音量(VOL38)に切り替わります。
※通常使用の際は、必ずアラームを解除してお使いください。

■スヌーズの使い方

- アラーム音として「buZ(ブザー)」を選択したときのみ、スヌーズ機能をご利用いただけます(ラジオを選択したときには使えません)。
- アラームを切るときに「バンド/アラームボタン」を押すと「スヌーズ」となります。アラームが一旦停止後約10分で再度アラームが鳴ります。
 - スヌーズを解除するには「電源/スリープボタン」を押します。



■スリープタイマーの使い方

- 電源オフ時に「電源/スリープボタン」を約2秒長押しすると液晶画面に「SLEEP 90」が表示されます(スリープ時間90分)。
- 続けて同ボタンを押すごとに80~10分まで10分刻みで設定が可能です。
設定完了後すぐに電源が入り、設定時間が経つと電源が切れます。おやすみタイマーとして便利です。

